



大阪+知的障害+地域+おもろい=創造

知の知の知の知

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所情報誌通算 4489 号 2018.7.15 発行

発達障害の私が会社生活で苦しんだ 10 のこと 新卒で入った大企業は結局 4 カ月で辞めた
安田 祐輔：キズキ共育塾代表 東洋経済 2018 年 7 月 15 日



発達障害のあるなしにかかわらず、一人ひとりが生き生きと働くことができる職場を考えることが、ひいては発達障害傾向のある人材を活かす方法につながる（写真：tdub_video）
小・中学生の 6.5%が発達障害の可能性——。これは 2012 年に文部科学省が発表したデータである。
実はこの「発達障害」という言葉、2004 年に発達障害者支援法が施行されるまで、あまり知られていなかった概念である。

理解されない「大人の発達障害」

「幼少期の発達」については、親にとって心配なことがあれば、3 歳児健診などで公的機関に相談できたり、必要であれば療育を受けることができたりと、支援は広がっている。しかし、「大人の発達障害」についての理解は、社会に十分に広まっているとは言いがたい。実は私自身も、子ども時代から大人になるまで、発達障害やうつ、ひきこもりなど、さまざまな障害やトラブルを経験した。現在その経験を活かし、発達障害・不登校・ひきこもりなどの若者を支援する進学塾「キズキ共育塾」などの事業を行っている。

発達障害を抱えていても、社会の中で自分を活かす場所を見つけるまでの体験は拙著『暗闇でも走る』に記したが、ここでは私が大企業を 4 カ月で退職した当時の心境を振り返り、発達障害傾向のある人材を活かす方法や、面接でのミスマッチを防ぐ方法を伝える。

たとえば、子どものころ「空気が読めない」「過集中」など発達障害傾向があり、いじめなどに遭ったとしても、やがて大学生や専門学校生になり時間の使い方や人間関係が自由に選べるようになると、その傾向も目立たなくなってくる。

しかし、そんな若者も、社会に出て就職すると、職場で「不適応」を示す事例が増えていく。

企業側も、発達障害傾向にありがちなユニークな学生をいざ採用してみると、配属先が合わず退職したり、早期退職するといったケースが増えていると聞く。

しかし、そんな社員を、マイナスイメージでとらえてはならない。実は、配属先や仕事内容が発達特性に合えば、驚くほど生産性を上げる可能性があるからだ。

反対に、特性を見誤って本人に合わない部署に配属すれば、社員も企業も不幸な結果に終わる。そんな今、企業側にも「大人の発達障害」に関する理解が急速に求められている。

実は、私自身が「発達障害」だと知ったのは、30 代になってからだ。これを聞いたとき「私が 4 カ月で仕事を辞めたのは、発達障害だったからだ」とあらゆる疑問が氷解した。

私は 10 年前、ICU（国際基督教大学）在学中、リーマンショック直前に就職活動を行い、運良く大企業に滑り込んだ。「これで安定した人生が待っている」と思っていた。

けれども、普通の人が当たり前前にできることができず（たとえば毎日、満員電車に乗る、ほか多数）、うつ病発症、4 カ月で会社を退職。その後退職をして 1 年間ひきこもり、ベッ

ドから起き上がれない生活が続いた。

発達障害の私が、企業生活の中で苦しんだことの例を一部挙げる。もし皆さん、または皆さんの上司や部下で下記のような特徴があったら、将来的に私と同じような苦しみを抱えてしまうかもしれない。

1. 空気が読めない（つい上司に反発しすぎたり、部下を詰めたりしてしまう）
2. 会社の飲み会のほか、休日の社内イベントは参加しない
3. 雑談が苦痛
4. 音に過敏
5. 耳栓をしないと集中できない（新人は電話に出なければいけないのに）
6. 革靴を履くことがつらい（感覚過敏）
7. 少しずつ約束を遅える（納期や締め切りも必ず少し遅れてしまう）
8. いつも待ち合わせ時間に5分ほど遅れる
9. 15分残業すれば明日の納期に間に合うのに、定時で帰る
10. やりたいことは追求するが、興味のないことになると途端にパフォーマンスが落ちるなど。もし思い当たる節があり、会社になじめず深刻に悩んでいる人は一度、専門機関で診てもらおう手もある。

自分の特性を把握し企業側へ伝えることで、配属先のミスマッチを予防することができるかもしれない。

これらの特徴は、一昔前なら、「甘えるな！」「働くことを舐めているのか」と言われてしまうような話である。けれども私はまじめに悩んでいた。なぜ普通に人には当たり前にできることが自分にはできないのか、よくわからなかった。発達障害と診断されるまでは……。

発達障害の私が起業家になり成功した理由

そんな私だが、会社を辞めた後の私は、1年のひきこもりの末、うつ病からはい上がって起業し、事業をなんとか成功させることができた。

私自身は発達障害の特徴である「集中すると物事がまったく聞こえなくなるほどの過集中」「白黒はっきりつけないと気が済まない」といった特徴が、起業家として活かすのだと思う。

発達障害の若者は決して「使えない」のではなく、「使い方が難しい」だけなのだと証明できた気がしている。

もし、部下が発達障害にみられる特徴があり職場になじめず、辞めそうな気配を感じたとき、上司は何をしたらいいのか。

私の場合、一言追記しておきたいのは、職場になじめない、浮いた存在の私を見て、上司たちはとてもやさしく声をかけてくれた。けれども、時にそれが逆効果になることもあった。

たとえば、「飲みに行こう」という声かけ。この「飲みに行こう」が一部の発達障害の当事者にとっては、悩みを生む。発達障害傾向のある若者のうちかなりの割合の人が、雑談が苦手だからだ。

会議のように「ゴール」のある場においては積極的に発言できるが、ふわっとした飲み会では何を話しているのかわからない。

自分が空気を読めないことを自覚しているほど、何を話せば失礼ではないのか悩んで、何も発言できなくなる（だから私は非常に人見知りであり、一方、一度仲良くなった人とは飲みに行くのが好きである……）。

そもそも私の場合、発達障害のせい聴覚での情報処理が得意ではないため、飲み会の会場がうるさいと、目の前の人の話に集中できず、ますます会話の流れが読みづらくなり、発言できなくなる。

仕事がうまくいかない若者を見ると、上の世代はつい「飲みに行こうか」と誘いがちだが、「飲みに行く」ことを喜ぶか喜ばないかも部下次第であることは留意しておきたい（仲良くなれば、話は別だが）。

最近スタートアップなどを中心に「1 on 1」がはやってきているが、業務時間中に1対1できちんとテーマを決めて話すほうが、良いことも多い。

発達障害の私がなぜ採用面接ではうまくいったか？

ここで注意しておきたいことは、そんな私でも採用面接はどうにかなったということだ。特に新卒採用では、面接で聞かれることはパターン化されている。

「あなたが学生時代に頑張ったことは」

「弊社を志望する動機は」

「これまでの人生で壁にぶつかった時のことを話してください」

聞かれることなど、どこの企業も似通っている。

昔から空気を読んで発言することが苦手だった私は、「コミュニケーションをパターン化」して理解することに慣れていた（幼少期からいじめられないように、努力した結果だ）。

採用面接初期のころ、某外資系金融機関では、空気が読めず何を発言したらいいのかかわからずさんざんな結果に終わった。

しかし、その後インターネットで「よくある質問パターン」を洗い出し、その回答を作って暗記するまで読み込んだところ、ほとんどの会社で最終面接までは到達した。実際、外資コンサル・総合商社・マスコミなどから1社ずつ内定をもらうことができた

私を含め、いわゆる高学歴の ASD（自閉症スペクトラム・アスペルガー症候群：人とのコミュニケーションやかかわりに難しさが生じる、興味や関心が狭い範囲に限られやすく、独特のこだわり、行動、振る舞いが見られることもある）は「パターン認知」の能力が高いことが多い。

発達障害のある人は、空気が読めずに苦労した分、コミュニケーションをパターンで覚えていることが多いから、採用面接はなんとかこなしてしまう人もいる。

そして近年はますます、企業側も「尖った人材」を求めるようになってきた。変わった雰囲気を持つ若者を、積極的に採用しようとする企業が増えてきている気がする。

「発達障害の傾向を持つ若者が採用されやすくなっている」と言えるかもしれない。



「尖った人材」はこうして活かす

私は起業において一定程度の成功ができたのだが、発達障害の当事者が持つ、「過集中」「こだわりの強さ」といった特徴は、仕事のさまざまな局面において意味を持ってくる。

一方で、会社がそのような人材を使いこなすことができるのかについては、「その会社による」としか言いようがない。使いこなすことができず、「お互いが不幸」にならないためにはどうしたらいいのか。

そのためには、自社に何が許容できて、何を許容できないのか、「行動規範」などを通じて、明文化しておく必要があるだろう。

『暗闇でも走る 発達障害・うつ・ひきこもりだった僕が不登校・中退者の進学塾をつくった理由』

弊社の社員にも、私以外に発達障害の者がいるが、たとえば ASD ゆえの「白黒つくまで考え抜く」といった姿勢のおかげで非常に助かっている。私見ではあるが、優秀な人に発達障

害傾向を持つ人はかなりいる。

ただそのような社員が活躍できる理由は、「その人に合ったポジションがある」からだ（そして弊社は、ポジションごとに採用を行っている）。

弊社は基本的に私服。私のように感覚過敏があっても働ける。全社的な飲み会はほとんどない。「人とのコミュニケーションに疲れるから夜はゆっくりしたい」タイプの者も働きやすい会社にしたいため。私のように発達障害傾向のある方にとっても働き心地の良い社風を創りたい、と思っている。

採用する企業は、「自社に合った人材とは何か、自社に合わない人材とは何か」。そして、学生は「自分に合うポジション、合わないポジションとは何か」を、明確に定義したうえで採用や配属、就活を行うことで、一人ひとりが生き生きと働くことができる。それは、発達障害のあるなしにかかわらず重要なことかもしれない。

西日本豪雨 災害支援「行きたい」と思ったら 現地の希望が大前提 大阪ボランティア協会・椋木さんに聞く /大阪

毎日新聞 2018年7月15日
大阪ボランティア協会発行のリーフレット。災害支援で知っておいてほしいことをまとめた。ホームページ (<http://www.osakavol.org>) からも見られる

**これだけは知っておこう
【災害支援ボランティア】**

被災されている方々を「放っておけない!」と感じて動き出す災害ボランティア。これから現地で活動しようというあなたに、知っておいてほしいポイントがあります。

**活動時に役立つ服装や持参物
「しっかり準備を」**

服装

- 汚れてもよい服装 (暑くても長袖・長ズボン)
- 着替え (汗をかきます)
- 帽子
- サングラス (おコシや日差しから目を守ります)

持参すると便利なもの

- マスク (できれば防塵マスク)
- ウェットティッシュ
- ゴミ袋 (ご自身のゴミは各自で持ち帰ります)
- 長靴 (雨の土まをもの、くまのぬきかき防止のために靴が入りやすいものがある方がよい)
- 雨具 (カッパ等)
- 軍手、ゴム手袋
- タオル
- 雑巾
- 飲料水
- 常備薬等
- 日焼け止め
- 保険証
- 食事 (基本的には持参)

その他: 黄色いジャケット、折りたたみマット、水筒、お菓子など

西日本豪雨で、泥水に生活をじゅうりんされた人たちのために何かできないかと考える人は少なくはないのでは。災害支援ボランティアをしたいと思ったらどうすればいいのか。大阪ボランティア協会のボランティアコーディネーター、椋木（むくのき）美緒さんに聞いた。【亀田早苗】

■サイトで情報収集

ボランティアに行く前に重要なのが情報収集だ。全国社会福祉協議会の「全社協被災地支援・災害ボランティア情報」というサイトに、ボランティア希望者向けの情報が掲載されている。災害ボランティアセンターが設置された自治体や募集状況なども確認できる。

それによると、センター設置は13日現在で12府県58市町に及ぶ。椋木さんは「東日本大震災より広範囲かもしれない。テレビなどの報道の影響で支援が偏る傾向があり、今回は報道をあまり見ない京都北部や岐阜などにも人手が必要などところはある」と話す。センターによっては、地元や近郊在住者などに限定しているところもある。

■原則「自己完結」で

ボランティアは「自己完結」が原則。宿泊場所や交通手段を自身で手配し、費用も負担する。一方、センターなどがボランティアバスを出し、参加者を募ることもある。「初心者はそのようなところを探す方が安心かも」と椋木さん。

食事や水も自分で調達する。椋木さんは「食事や水は、現地が断水しているなどの状態では持って行く方がいい。少し落ち着けば、現地で買う方がお金が落ちていいのだが」という。変化する状況への対応が必要だ。

活動時は汚れてもいい服装で。特に泥かきをする場合、ゴム手袋や軍手、雨ガッパのビニール製ズボン、長靴などがあるといい。暑くても長袖、長ズボン、防じんマスクが、けがや感染症への対策になる。もちろん、熱中症予防も忘れずに。

ボランティア活動保険にも加入が望ましい。現地でも入れるが、負担を減らすため最寄

りの社協であらかじめ入っていく。

椋木さんは「今は家財の片付けや泥かきが求められ、体力は相当いる」という。衛生面などの心配もあり「資金面での支援も考えていただければ」。被災者に届ける「義援金」や支援活動に使われる「支援金」がある。

■大阪北部地震でも

協会では、大阪北部地震の支援も続けている。

地震被害の大きかった高槻市の市災害ボランティアセンター（080・5068・9427）では14日から、個別訪問の聞き取りを始めた。支援の漏れや偏りをなくす目的で、埋もれたニーズを見つけ、支援する。18日午後4時からは高槻市の古曽部防災公園で勉強会（実施主体、茨木ベース＝070・3149・9333）があり「長持ちするシートの張り方」を学ぶ。

椋木さんは「現地希望に合わせた支援が大前提。すぐに被災地に行けなくても、気持ちを持ち続け、長い目で支援してほしい」と話す。

愛媛豪雨災害 震災の絆、東北から愛南に物資 1400キロ走りトラック到着



愛媛新聞 2018年7月15日
東北のNPO法人から届いた豪雨災害被災地への支援物資＝14日午後、愛南町御荘平山
【愛南の支援団体 仲介】

記録的豪雨が襲った県内被災地の助けに―。愛南町のNPO法人などの福祉関係者が14日、東北からの支援物資を受け取った。2011年3月の東日本大震災の被災地で支援に当たった町内の医療、福祉関係者らの育んだ絆が、

東北からの恩返しにつながった。

支援物資の手配を担ったのは、仙台市で障害者や高齢者福祉に携わるNPO法人「雲母（きらら）倶楽部」のメンバー。東日本大震災の際は、障害者就労支援などを行っている愛南町のNPO法人「ハートinハートなんぐん市場」のメンバーや、公益財団法人正光会などの病院関係者らが、1年以上にわたって代わる代わる東北に出向き、雲母倶楽部とともに被災者支援を続けた。

なんぐん市場の中野良治マネジャー（42）によると9日、雲母倶楽部側から、支援の申し出があり、南予の各地区で断水が続き、給水に困っていると伝えた。

東北からの支援物資を乗せたトラックは14日午後、なんぐん市場の事務所に到着。飲料水や非常食のほか、水を入れるタンク220個や、水道管に直結させなくても使える二層式洗濯機5台が届いた。仙台市から1400キロ以上の距離を同僚と2人で走ってきた秋月郁夫さん（70）は「震災の時は多くの支援をもらった。愛媛とは伊達藩のつながりもある。困ったときは助け合いたい」と笑顔を見せた。

物資は正光会の職員や住民有志が15日以降、宇和島市三間、吉田地区を中心に順次届ける。タンクは市からの情報を基に、水が不足している介護・福祉施設などにも設置し、愛南漁協の活魚車を活用した給水も行う予定。

なんぐん市場の吉田良香理事長は「人の縁の大切さを感じ、本当にありがたい。豪雨の被災者の助けになれば」と話している。

愛媛豪雨災害 加藤厚労働相「早急に特例措置検討」愛媛・大洲を視察

愛媛新聞 2018年7月15日

加藤勝信厚生労働相は14日、肱川の氾濫などで甚大な被害が出た愛媛県大洲市を訪れ、

浸水被害にあった介護老人保健施設や上水道の水源地を視察した。宇和島市の断水対策に、東京五輪用の浄水用装置を活用することを明らかにした。

床上約2メートル40センチまで浸水した介護老人保健施設「ひまわり」（大洲市徳森）で、加藤厚労相は入所者に「体調は大丈夫ですか」などと話し掛けた。施設では入所者に被害はなかったが、デイケアは休止中。運営する医療法人恕風会の清水清勝理事長は「隣接の病院では磁気共鳴画像装置（MRI）が水に漬かった。できるだけ多くの施設が早く再開できるよう配慮を願いたい」と要望した。



同市菅田町菅田の上水道の水源地では、二宮隆久市長が浸水した市街地の現状を写真や地図で加藤厚労相に示し、1週間程度で市内の大部分の断水を解消できると説明。水道施設や福祉・医療施設の早期復旧への支援を求め、「今後は衛生面などから災害ごみの対応が課題になる」とした。

大洲市の断水状況などを市の担当者から聞く加藤勝信厚生労働相（右から2人目）＝14日午後2時15分ごろ、同市菅田町菅田

視察を終えた加藤厚労相は介護保険の利用者負担免除や避難所での心のケアなどに取り組むとし、雇用調整助成金の助成率引き上げや要件緩和などを行った2016年の熊本地震を参考に「早急に特例措置の検討を進めたい」と語った。

断水が続く宇和島市については「浄水装置の復旧は困難で仮設装置を作るにも時間がかかるが、東京五輪のカヌー競技場の浄水用装置の一つを東京都などから活用させてもらえることになった」と述べた。

海風受け夏を満喫 障害者らクルージング

車いすごと船へと乗り込み、クルージングを楽しむ障害者ら

障害者に海の魅力を体験してもらおうと、宮崎市の市民団体「マリブルーボランティア」（山口雅博代表）は15日、同市のサンマリーナ宮崎で「海フェスタ」を開いた。福祉施設を利用する障害者ら約150人が参加。高校生や大学生ら約340人のボランティアのサポートを受けながら、クルージングなどを楽しんだ。

宮崎日日新聞 2018年7月15日



カブトムシ 竹から 福祉施設、コンビニが販売協力 宮津 /京都



毎日新聞 2018年7月15日
福祉施設「マ・ルート」が用意した竹のカブトムシセット。ローソン宮津京街道店などで販売する＝京都府宮津市波路で、安部拓輝撮影

宮津市上宮津地区の住民が生い茂る竹林を刈り取って堆肥（たいひ）作りを始めたところ、そこから大量のカブトムシが湧き出した。ひょうたんから駒のような話だが、これも立派な地域の資源。市内の福祉施設やコンビニが販売に協力することになった。【安部拓輝】

竹チップの山を掘ると、穴の中でカブトムシの角が光った。ニョキニョキといくつも見える。引っ張り出すとバケツは元気なカブトム

シでいっぱいになった。

上宮津地域会議が竹の伐採を始めたのは2015年の冬。竹を砕いて寝かし、堆肥に使用しようと掘ってみると……、カブトムシの幼虫がゴロゴロと湧いていた。ふかふかの土は産卵に魅力的だったのだろう。地域会議の八尋慈教代表は「上宮津の山からの贈り物だ。商品として生かす方法を探りたい」として今年から同市浜町のまごころ市で販売を始めた。

協力を申し出たのは、同市波路の福祉施設「マ・ルート」。障害のある人たちの仕事の一つにしようと販売を企画した。竹堆肥を敷いた虫かごに雄と雌を入れて販路を探ったところ、同市京街道のコンビニ「ローソン宮津京街道店」が快諾した。店は京都縦貫自動車道の宮津天橋立インターチェンジに近い。オーナーの武田正男さん（69）は「週末や夏休みには京阪神の家族がたくさん立ち寄る。この店が都会と地域のニーズをつなぐのに役立つなら喜ばしいことだ」と語る。14日を皮切りに16日午後3～5時にも販売する。

15日は同市田井のホテル&リゾート京都宮津で、22日は京丹後市弥栄町の丹後王国「食のみやこ」でも販売する。マ・ルートの五宝健介さん（39）は「竹とカブトムシがつないでくれた縁を、もっと広げたい」と話している。

政府は離婚後の共同親権の導入を検討している

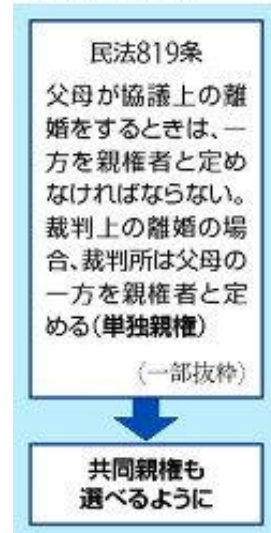
離婚後も双方に責任を…「共同親権」新制度検討

読売新聞 2018年07月15日

政府が、離婚後に父母のいずれか一方が親権を持つ「単独親権」制度の見直しを検討していることがわかった。離婚後も双方に親権が残る「共同親権」を選べる制度の導入が浮上している。父母とも子育てに責任を持ち、親子の面会交流を促すことで、子どもの健全な育成を目指す。

法務省は親権制度を見直す民法改正について、2019年にも法制審議会（法相の諮問機関）に諮問する見通しだ。

1896年（明治29年）制定の民法は、家制度を色濃く反映している。親権が子どもに対する支配権のように誤解され、児童虐待につながっているとの指摘もある。親権は2012年施行の改正民法で「子の利益のため」と明記されており、政府はこの観点から更なる法改正に着手する方向だ。



知名度不足、いじめの悩み救済制度の活用ゼロ

読売新聞 2018年07月15日

いじめや体罰などを受けた子どもの人権に関する悩みを救済する長野県の申し出制度が、2015年4月の開始から一度も活用されていないことが、わかった。県子ども支援センターなどが相談を受け、県子ども支援委員会に申し立てる仕組み。同委員会は案内が不十分だったとしており、積極的な制度利用を働きかける。

同委員会は医療や法律、教育、福祉分野などの学識経験者5人で構成される。申し立てがあると、関係者から話を聞くなどして事実を調査し、審議する。証拠となる書類提出を関係機関に求めることもある。人権救済の申し立ては県条例に規定されており、同委員会は知事が教育委員会に必要な措置を講じるよう勧告できる。

17年度は、申し立ての前段階となるセンターへの相談件数が872件（前年度比44件増）に上った。ただ、同委員会は活動報告書案で「深刻な事案がなかったのかもしれないが、案内が十分でなかったり、救済措置が必要と判断する積極性が不足していたりしたのかもしれない」とした。このほか、センターの知名度が不足していると問題点を指摘した。

県が昨年度行ったアンケートでは相談窓口の利用について、家族や友達に相談することなどを理由に「利用したくない」と答えた子どもが60%に達した。一方、相談した子

もの67%は状況が「良くなった」か「すこし良くなった」と答えた。

同センターの相談電話は、通話無料の子ども専用（0800・800・8035）と大人用（026・225・9330）で、月～土曜日の午前10時～午後6時に受け付ける。

社説：概算要求基準 一定の歯止め設けるべき 京都新聞 2018年07月15日

2019年度の政府予算が、当初の段階で100兆円を超えてしまい、過去最大の規模となる可能性が高まっている。

政府が先週、閣議了解した概算要求基準に、有効な抑制策が見当たらないからだ。

野放図な予算編成を続ければ、財政再建は遠のき、国の将来に不安が募る。今後強まる歳出圧力に分別のある対応が求められよう。

概算要求基準は、次年度の政府予算編成に向けて、ルールを示すものである。これに沿って、各省庁は8月末に概算要求を行う。財務省との折衝を経て、12月には政府予算案が示される運びとなる。

来年度は、何といたっても、10月に予定される消費税率の10%への引き上げに、備えなければならない。

概算要求基準では、安倍晋三政権の成長戦略に手厚く配分することを狙って、より巨額な特別枠を設ける。

削った経費の3倍まで計上できるとの誘因をつけて、成長戦略となる生産性の向上や人材育成といった分野の事業に予算を集中させる。

特別枠の要求額は、本年度を約6千億円上回り、4兆4千億円を超える見込みだという。

また、これとは別に景気対策費の上積みも検討する。

例年なら補正予算で対応するところだが、税率引き上げに伴う駆け込み需要と反動減を平準化するため、10月をにらんで当初予算に盛り込む方針だ。

14年に消費税率が5%から8%になった際の約5兆5千億円を念頭に要求すべき、との声が与党にある。

税率引き上げに、消費マインドをなえさせない景気対策が必要なのはいうまでもないが、予算額が大きければ効果があるとは限らない。冷静な判断も欠かせないはずだ。

年金や医療などの社会保障費については、本年度予算から6千億円を増額する要求を認めてしまった。

次期の中期防衛力整備計画を反映する防衛費、西日本豪雨を受けた治水対策、自治体に配る地方交付税などにも、増額を求める要因がある。

来年は、統一地方選と参院選が予定されている。歳出圧力が強まる一方ではないか。

概算要求の総額が5年連続、100兆円を超えるのは確実で、本年度当初予算が約9兆7千億円だったことを考慮すれば、来年度の100兆円超えは避けられそうもない。

今回の概算要求基準でも、歳出に上限が設けられなかった。6年連続で、いわば「青天井」の要求が通る状況だ。

本年度までは、社会保障費の自然増を年5千億円以内に抑えるとの目標があったが、来年度は設定されていない。

やはり、何事にも一定の限度、歯止めというものを、用意しておかなければならない。

国と地方の借金は、1千兆円を超えている。25年には団塊の世代が75歳以上となり、社会保障費の急増が予想される。場当たりの、消費増税さえ乗り切ればよいのではない。

国の持続可能性についても、目配りしてもらいたい。

月刊情報誌「太陽の子」、隔月本人新聞「青空新聞」、社内誌「つなぐちゃんベクトル」、ネット情報「たまにブログ」も
大阪市天王寺区生玉前町5-33 社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所発行

